

安全マネジメントへの取り組み・年度目標(掲示用)

1: 2026年度(2026年4月1日～2027年3月31日) 安全方針

交通違反を抑止し重大な事故への入り口を塞ぐ。

2: 社内周知方法

本取り組みを全責任者へのメール展開により周知し、営業所内での掲示を指示。

3: 安全目標

- ・重大事故 0件
- ・過失有の運転事故(接触・物損) 発生率0.105%(稼働台数ベース)
20%(保有台数ベース)
(確認不足による事故を半減させた時の発生率を目標値としています。)

4: 目標達成の為の計画

- ・1回/月の運転者教育(営業所毎)に加え、安全対策会議(QC_MTG)の実施。
- ・事故・違反惹起者に対し、必要に応じて同乗指導。
- ・事務所・車両の5S活動の継続。
- ・各種安全運転管理システムの利用により安全運転喚起(継続)、合わせてドラレコの画像により危険挙動の可視化。
- ・業務品質部主体の事故防止教育及び指導の実施。

5: 昨年度の達成状況

目標	結果	過未達判定	備考
重大事故0件	0件	○	
事故率20%以下 (保有台数ベース)	35.9%	×	106件/295台 (発生件数/保有台数) 発生率:35.9%

自動車事故報告規則第2条に規定されている重大事故件数 0件

6: 前年度の反省、対策

昨年度発生した“ながらスマホによる重大事故”や“大幅速度違反”などの事案を重く受け止め、今年度は安全文化の原点に立ち返り、あるべき姿を見つめ直す年度とする。特に、事故の芽となる軽微な違反や確認不足の抑止を最重点課題とし、日常業務における基本動作の徹底と安全意識の向上を図る。そのため、SC長による適宜同乗指導やPAN主催のフォローアップ研修を継続的に実施し、隊員一人ひとりの運転行動改善を促進する。

2026年4月1日

株式会社プレミアアシスト/ロードアシストカンパニー

カンパニー長 上久保 健史